

女性パトロール 実施報告書

実施日:平成30年11月21日(水)
対象現場:東埼玉道路大落古利根川側道橋下部その1工事
報告者:TWS 笠原美寿々



作業状況

東埼玉道路は、埼玉県八潮市(外環道)を起点に埼玉県春日部市(国道16号)に至る地域高規格道路で、国道4号の交通混雑を緩和するため工事が進んでいます。この現場では大落古利根川に東埼玉道路の上り線と下り線に1基ずつ橋脚を施工しています。

河川に橋脚を施工するにあたり、作業箇所へ水が浸入しないよう囲いをつくるため、鋼矢板の圧入作業を行っていました。今回は下り線(大落古利根川下流側)で作業をしていました。

地盤が安定する位置まで鋼矢板を圧入するためには23mの鋼矢板が必要ですが、道路交通法で12mまでしか材料を積めないため、11mと12mの鋼矢板を搬入し現場で溶接しながら作業を行っていました。

現場で鋼矢板の溶接をしながらの作業になるので時間がかかると思いましたが、サイレントパイラーを操縦する人と溶接する人の連携が良く、一連の作業が早く感じました。



環境への取り組み



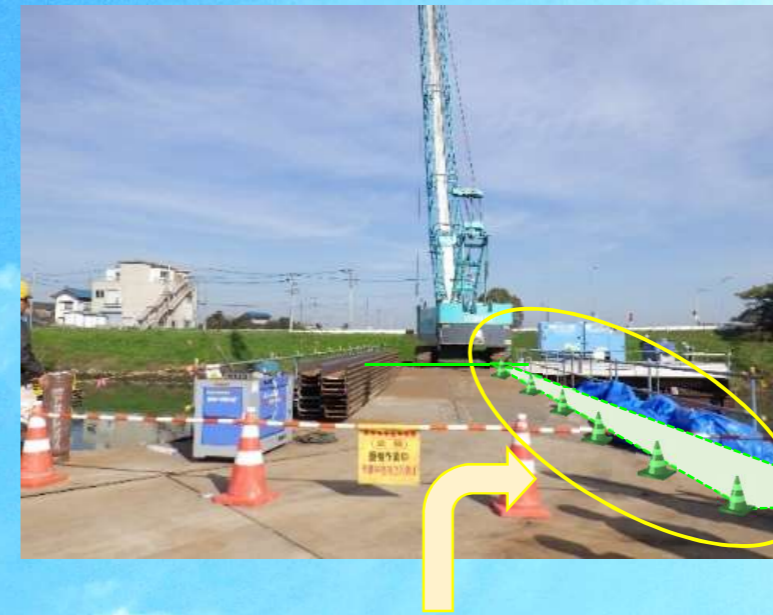
鋼矢板圧入時に発生した濁りは、そのまま河川に流れないように濁度フェンスを活用し、濁度数値が180mg/lを超えないよう管理されていました。

また、濁度フェンスの後ろにはオイルフェンスを設置し、綺麗な水を河川に戻す取り組みをされていました。

ゴミ置き場は、分別内容毎ごとに表記されたラベルが掲示され、ゴミの分別に心がけていました。



安全性



仮橋は狭いので、移動できる資材で右側に安全通路を確保した方がより安全が高まるのではないかと考えました。(上記の写真はイメージ図です)

また、作業開始・停止の合図に工夫して吊荷の下に入らないように注意喚起が必要だと感じました。

川は浅瀬ですが、転落して打ち所が悪ければ重症になることもあります。また気を失うようなことがあれば川に流されてしまう危険性もあります。

河川上での作業の危険を作業前に確認し、引き続き作業をしてほしいです。

上り線の仮橋には、55tクローラクレーンという大きな機械が入り、かなり迫力がありました。作業停止時に機械の近くを歩きましたが歩行スペースが狭く、かなり圧迫感を感じました。

作業時には仮橋の入口から立入禁止区間とされていましたが、入口から作業場所まで距離が20m程あるので、作業場所まで遠いように感じました。

作業を停止する際に、距離が遠いと合図に気づけないこともあるかと思えます。



仮橋の入口には、上下線ともに消火器が設置されていました。

事務作業を女性職員がサポートすることで、現場の方の業務負担の軽減を図っていました。

また、女性トイレの設置や、防犯対策として防犯カメラの設置がされていました。防犯カメラは事務所から周辺の様子を確認できるので、女性職員が安心して作業しやすい環境も整っていました。



工事用道路、仮橋は常に掃き掃除をされていてとても綺麗な現場でした。また、資材や機械の置き場も特定の位置に戻すように心がけている様子で良い印象を受けました。

現場には、大きな機械を運搬することが多いので、振動・騒音の発生が予想されるときは事前に近隣住民の方とのコミュニケーションを図り、現場周辺の生活環境に十分に配慮されている現場でした。

今後も引き続き事故のないように作業をしてほしいです。

女性パトロール報告書

現場名：東埼玉道路大古利根川側道橋下部その1工事 実施日：平成30年11月21日
 現場職員：野口德行・梶原永智・富田健太 実施者：笠原美寿々・小柴亜柚美 報告者：小柴

作業説明



今回は東埼玉道路大古利根川側道橋下部その1工事 という現場のパトロールを行いました。作業所で作業の説明を受けてから、実際に現場に行きました。

現場の入り口には、地域住民に説明するための看板が設置されていました。工事の全体の内容と、現在行っている作業内容が分かるように書かれていました。なかなか人が通らない場所ということでしたが、どんな工事なのか分かる地域住民の方も安心できると思うので、この説明板を活用してもっとたくさんの人に知ってもらえると良いと思いました。

パトロール状況



地域住民との関わり



工事の説明



作業状況確認



東埼玉道路大古利根川側道橋下部その1工事はBPを繋げるための橋脚を設置する工事で、パトロール当日は鋼矢板の圧入作業を行っていました。実際に作業場所の近くまで行き、見学させていただきましたが、河川上での作業に慣れていない為か、転落防止用のロープや立ち入り禁止の張り紙が少ないように感じ、転落したら怖いと思いました。また、重機の後ろに注意を促す貼紙が貼ってあったのですが、分かりにくかったので、もう少し目立つようにしてもいいのではないかと思います。安全帯やライフジャケットの着用、現場付近には浮き輪を設置するなどの安全対策はしっかり行われていました。

ゴミの分別



資材やごみ置き場が他の現場に比べ綺麗に整理整頓されていました。ゴミの分別もペットボトル・空き缶・燃えないゴミ・燃えるゴミで分けられていました。

燃えるゴミ、燃えないゴミにはカラス除けのネットがかぶせてありました。

河川的环境保護

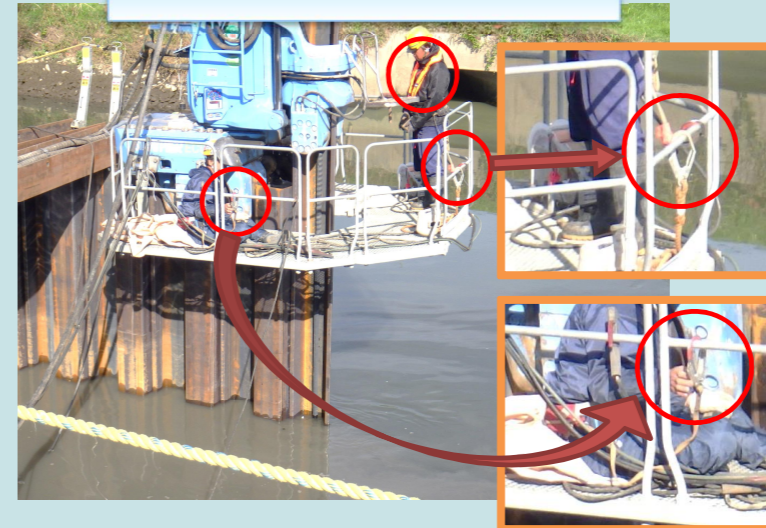


オイルフェンス

濁度フェンス

現場の下流側には、作業中に発生した汚濁水の流出を防止するための濁度フェンスとオイルフェンスが設置されて、1級河川である大古利根川的环境保護対策がされていました。

安全帯・ライフジャケットの使用



浮き輪の設置



今回安全パトロールを実施し、安全面の説明の他にも現場の施工方法や機械について丁寧に説明していただきました。

今回の現場は河川上での作業であり、鋼矢板など重量物の取扱があるため、常に危険と隣り合わせですが、河川への転落や重量物や重機との接触には十分注意して作業を行ってほしいです。

また、これからの時期は寒くなってきますので、体調管理にも十分気をつけて作業を進めてもらいたいです。